



育生小たより

わくわくいくぜっ!

～ 思いを聴き合える学校をめざして～

津市立育生小学校
令和5年度 第5号
9月5日(火)
文責:育生小学校長



2学期がスタートしました。元気に挨拶をしてくれる子どもたち、教室で友だちや先生と楽しそうに話をするたくさんの姿、うれしく思うと同時に「この姿を大切にしていきたい!」と緊張感が高まった次第です。特に、久しぶりの学校で心のどこかに不安を抱えている子どももいるであろうと、アンテナを高くして子どもたちに寄り添っていくことの大切さを全職員で確認したところです。2学期もよろしくお願いいたします。

【 始業式 … 2学期のしょっぱなにの伝えたかったこと! 】

この暑さの中、空調設備のない体育館に全員が入ることは危険と判断し、リモートでの実施にしました。「①夏休みのふりかえり ②防災の日 ③2学期で期待すること」についてから話しました。(HPに写真入りで詳細を掲載していますので、ぜひご覧ください。)

さて、上記のTシャツは、が17年前に育生小で4年生を担当していたとき、運動会の際に子どもたちとお揃いの黒Tシャツに『自分の好きな漢字』を書いて作ったものです。お盆休みに、着れなくなった服を整理していて、偶然見つけたのです。懐かしさと「笑いのある学校にしていきたい」という思いで、始業式で紹介したのです。あわせて、毎日つけている名札の紐をピンク色にしていることも紹介しました。「ピンクシャツデーの取組から継続している」こと、「いじめのない学校にしたいんだ」ということを伝えました。みんなで、誰もが安心できる育生小学校をつくっていきましょう!



【 津市の教育がめざしていくもの…キーワードは『ウェルビーイング』 】

ウェルビーイングとは、「一人ひとりが幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあること」です。
【 学校という場で、子どもたち一人ひとりが喜びを抱くことができるように! 】
これが教育長の理念であり、私たち教職員のめざすところでもあります。

コロナ禍やAIの急速な台頭、不登校やいじめ、厳しい生活状況といった子どもたちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、幸せや生きがいを抱くことができるよう、学校が大事にしていくこと!

○心身の健康

○自己肯定感(自分には良いところがある)

○幸福感(将来の夢や目標を持っている)

○学校でのつながり(友人関係の満足度)

○地域でのつながり(地域や社会のために何かしてみたい)

○自己実現(授業の内容がよくわかる)

○多様性への理解(自分と違う意見について考えるのは楽しい)

○サポートを受けられる環境(自分を認めてくれる・相談できる)



従来から取り組んでいることばかりですが、これらのことの価値づけをしっかりとおこない、今まで以上に意識高く取り組んでいきます。加えて、子どものウェルビーイングに直結する教員のウェルビーイングも大切にしていきます!

働かざる者食てなし!!



『学びの質・学びに向かう意欲』が向上するよう取り組んでいます!!

【 全国学力・学習状況調査の結果から見えてきたこと 】

4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が、7月末に公表されました。全国及び各県の平均正答率が新聞紙上等に掲載され、国語では「複数の情報から自分の考えをまとめることが苦手」算数では「図形の性質や面積について考察する力に課題」といった分析が報じられていました。

●三重県は 小:国算 中:国英の4教科で全国平均を下回り、中:数は上回ったという結果でした。

4教科の全国との差は▲0.3~1.1ポイントです(新聞報道)。

●本校の結果は、国算ともに三重県の結果を下回り、特に算数での開きが大きくなっています。



4月の実施後、教職員全員で問題を解き、採点し、分析をおこなってきました。

夏季休業中には、中学校区でも情報共有し、校区をあげての取組の方向性を確認しました。



★本校の課題…国算ともに「たくさんの情報がある中から回答に必要な情報を取捨選択する力が育っていない」ということが分かりました。全国と同じ傾向と言えますが、その苦手感が大きいということになります。また算数では、グラフの読み取りにも弱さがみられました。こういった傾向は、下学年の「みえスタディ・チェック」でも共通しており、低学年からの学びの連続性を意識して学校全体で取り組んでいかねばならないことを意思統一しました。



★本校の強み…『学びに向かう意欲』の高まりから、今後の伸びを確信しています!

全国学力・学習状況調査の児童質問紙では、「先生は、よいところを認めてくれる」「先生は、わかるまで教えてくれる」「人が困っていたら、進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」「普段の生活の中で、幸せな気分になる」等の項目で、90%を超える肯定的な回答がみられます。『算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか』の項目でも93%という数値が出ています。

◎ 自己評価が高まってきているという手ごたえが強く感じられるようになってきた。

◎ 教科学習を頑張れば将来役に立つんだという気持ちが芽生え、強くなっている。

テストの点数には表れにくかったけど、このような「自分もできる」「学びたい」という意欲やあきらめない気持ちが育ってきているということに大きな意義・価値を感じているところです。

『わくわくする学校づくり』が少しずつ積み重なってきているように思えてきました!



【 ALT 教育実習生 】

★ALTの授業がスタートします。南アフリカ共和国から来日して約3週間、日本語は初心者とのこと。とっても朗らかな方です。

積極的に話しかけて、仲良くなろうね!

★3人の実習生=先生の卵です。子どもたちにとっても貴重な体験ですが、3人にとって「先生になりたい」という気持ちが高まるような実習になるようサポートしていきたいです!

【 夏休みの振り返り 】

皆さんは、夏休みの振り返りをしましたか?

先生たちは、たくさんの研修会や会議、校舎内外の片付け、2学期の準備と大忙しでした。そんな中でもリフレッシュもしましたよ!

は、切り絵という新たな趣味に出会いましたし、マラソン大会出場・完走を目標に練習を始めました。姿勢の悪さから首を痛めてしまったのは大誤算でしたが、充実の夏でした!

